

1 へ寝息▽「すー…すー…すー…すー…」

2 へ楽しい夢をみてるみたい▽「んふ…んふふふ…」

3 【目覚まし時計のSE】

4 へいやそうにうなる感じ▽「んっ、んんっ…んっ」

5 「うるさい…んんっ…」

6 【止めるSE】

7 「せっかくいいところだったのに…んんっ…」

8 「どうせお母さんが起こして…ふぁ…」

9 「んんっ…ゆめの、続きを…」

10 「すー…すー…すー…すー…」

11 【寝息で音声フェードアウト】

12 「すー…すー…すー…すー…」

13 「すー…すー…すー…すー…」

14 【時間経過5秒ほど開ける】

15 へ寝起きでふわふわした感じ▽「んっ、んんっ…」

16 「ふぁ…よく寝た…」

17 「んっ、今日は珍しく目覚めがいい…」

18 「今は…えっ。」

19 「7時…22…分？」

20 「あっ…23分になって…」

21 へここから目が一気にさめる▽「…そうじゃなくて！！えっ！！
えっ！？」

22 「うそうそうそうそ…なんでなんでなんで…！」

23 へ自らの行いを思い出す▽「アラームはちゃんとセットしたのに…
いや、けど…あつ。」

24 「ああああああ…！！またやっちゃったまたやっちゃったまた
やっちゃった〜！」

25 「実家の時の癖で…ばかばかばかばかばかばかばかばかばかば
か…」

26 「…っ！いや！まだ間に合う！」

27 「40分の特急に乗れば出席確認まではギリギリ…」

28 「急げ…！今日遅刻したら落単が確定しちゃう…！」

29 【音声フェードアウト】

30 「服はなんでもいい！髪は電車ズンという…」

31 「朝ご飯は…あつ！昨日買った牛乳とパンが！」

32 「これを食べながら…よし、これならギリギリ…」

33 【時間経過3秒ほど開ける】

34 「はあ！はあ！はあ！はあ！」

35 【走るSEとスイカぴっするSE（マナカでもいい）】

36 「ふうふううう…発車3分前、間に合った…」

37 「危なかった…これを逃すと次は20分後だったから…」

38 「いや〜ともあれよかった、あとは電車で休息を…」

39 【お腹のSE】

40 「んんっ…」

41 「う〜朝から走ったからかな、お腹が変な感じ…」

42 「あとは大学に着くまで席でゆっくりしよう…」

43 「それにしても言語の先生は厳しすぎるよ…10分以上の遅刻は欠席扱いなんて…」

44 「そのくせ必修科目だし…まあテストはないのはありがたいけど…」

45 へ伸びしてる✓「ん〜ともかくこの電車に乗れば間に合ったも同然、あとはこのボサボサの髪を直して…」

46 【時間経過5秒ほど開ける】

47 【電車のSE】

48 「んっ、んんっ…」

49 【お腹のSE】

50 「あう…んんっ…」

51 「お、おかしいな…なんかお腹が…んんっ…」

52 「うう…この感じ、消化とかそっちじゃないよね…」

53 「なんでだろう…心当たりと言えば、朝飲んだ牛乳とパンくらいしか…」

54 「一気に飲んだから…いや、飲んだあと走ったから…？」

55 「…さてよ、よくよく思い出すと昨日買った牛乳とは別の方を飲んだ気が…」

56 「…まずい、心当たりしかない…」

57 「あう…」

58 【お腹のSE】

59 「うう…やらかした、胃は強い方だったけど流石に無茶したかな…」

60 「んっ、んんっ…」

61 「大学にいたらすぐトイレにいこう…授業まで若干の余裕は…んんっ…」

62 【お腹のSE】

63 「うゝごろごろする…」

64 「お腹を壊すなんていつ以来だろ…確か高校生の…あう…」

65 「くうう…到着まで結構かかるし、これはなかなか辛いなあ…」

66 「はあ…はあ…んんっ…」

67 【時間経過5秒ほど開ける】

68 「はあ…！はあ…！」

69 【お腹のSE】

70 「はぐう…！んんっ…」

71 「あ、あれ…なんで、こんな急に…あう…」

72 「違和感を感じてから、また数十分も…いう…！」

73 「…っ！いつ…！まつ…！」

74 「ふう…！ふう…！んんっ…！」

75 「はああ…はああ…ふううう…」

76 「い、いま…ごろごろって…かなり…」

77 「はあ…はあ…この感じ、なんだがすごい嫌な予感がする…」

78 「…ちよつと、ググってみて…」

79 「んっ、んんっ…」

80 【スマホぽちぽちSE】

81 「牛乳 下す 急に…」

82 「なになに…うつ、やっぱり一気飲んだり直後に走るのはいくはないんだ…」

83 へよみ にゆうとうふたい▽「あとは…乳糖不耐…？」

84 「大人になってから牛乳を飲むと、下す場合が…」

85 「…確かに、昔は何本飲んでも平気だったけど、最近は違和感を感じるように…」

86 「あとは当たり前だけど傷んでたりしたら…」

87 「…やばいって、これ下す条件のフルコースじゃん…」

88 「あう…とかいってたらまたあ…」

89 「うう…なんかこれみたら余計に意識しちゃって…」

90 「はあ…はあ…あう…」

91 「うう…どうしよう、どんどん悪化してきたし、一旦降りてトイレに…」

92 「…けど、ここで降りた瞬間、一限の遅刻が確定、それすなわち単位を落とすことに…」

93 「ううう…必修言語を落とすのは正直かなりきつい…ここで落とすと来年一年生と一緒に取る羽目に…」

94 「あぐう…けど、お腹を壊したまま電車に乗るのも…万が一を考えると…」

95 「うぐうう…私の馬鹿、こういう時のために余裕をもって出席するべきだったのに…はぐう…」

96 【電車がゆっくり止まり始める】

97 「はっ！そうこう考えてる間に…」

98 「特急だから、降りるならこの駅が最後…」

99 「ううう…どうしよ、どうしよ…」

100 【ここから分岐、心の声も追加する。ルートA-1そのまま乗り続ける】

101